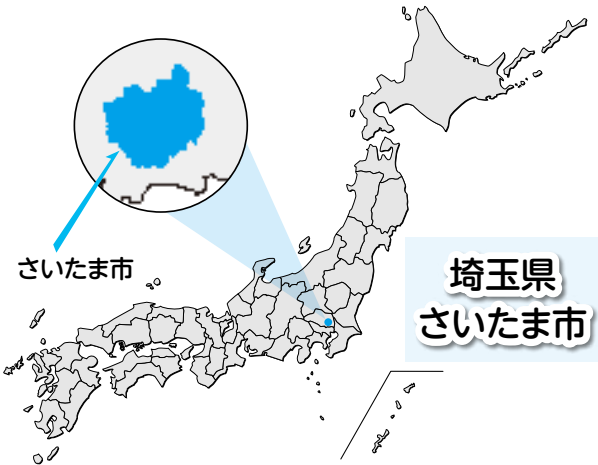


私のふるさと



雨田 佐藤 純子 さん



tette 情報

■ tetteスクールなど

市民交流センター ☎(73)4407

tetteシネマ 「世界一美しい本を作る男」
10月14日(月・祝) 午後6時～8時 ※事前申込
tetteシネマ(映画上映イベント)は、2～3カ月に1回程度の開催を予定しています。
tetteスクール 「市民大学」
第1回講師：中江有里さん(女優・作家)
10月30日(水) 午後6時30分～8時 ※事前申込
tetteスクール 「冬のギャザリング」
11月4日(月・休) 午後2時～3時30分 ※事前申込

■ 図書館だより

中央図書館 ☎(75)3309

点字をまなぼう！
日時 11月17日(日) 午前10時～11時30分
場所 tette1階「でんぜんホール」
対象 小学3年生以上 定員 20人 ※事前申込
内容 身近に使われている点字を探したり、実際に点字器を使い点字を打ったりします。

私のふるさととは、都心から約20*メートルに位置し、ベッドタウンでもある埼玉県さいたま市(旧浦和市)です。
今でこそ開発が進み都会的になってきましたが、幼い頃は、田畑が多く残り、夏になると網戸にカブトムシがとまるような、のどかな土地でした。近くには荒川が流れ、河川敷に広がる広大な秋ヶ瀬公園があり、友達と1日中シロソメクサで花冠作りをして遊んだものです。
あまり知られてはいませんが、旧浦和市は、「うなぎのかば焼き」発祥の地なんです！「浦和うなぎちゃん」というキャラクターもいる程です。江戸時代に浦和の川や沼地で捕れたうなぎを中山道を行き交う旅人に振る舞ったのが始まりだそうです。うなぎ自体はもう捕れなくなりましたが、今でも老舗のうなぎ専門店が数多く残っています。
須賀川に縁あって嫁いで、来年でちょうど20年になります。慣れない土地に最初は戸惑いもありましたが、話し好きで楽しい周りの人たちに支えられ過ごしてきました。これからは、私なりにその恩返しをしていけたらと思っています。

■ こどもセンターのイベント・講座

こどもセンター ☎(76)6687

ハロウィーングッズを作ろう
10月10日(木) 午前10時～11時30分 ※事前申込
はみがき講座
10月16日(水) 午前10時～11時30分 ※事前申込
お誕生日カードづくり&記念撮影
10月18日(金)・30日(水)、11月8日(金)
午前10時～午後4時 ※事前申込時に希望時間を予約
童謡うたあそび
10月25日(金) 午前10時30分～11時 ※自由参加
ママカフェ
10月28日(月) 午前10時～11時30分
※事前申込。10月は初めての人限定

読み聞かせ会など

内 容	日 時	会 場
こども読み聞かせ会 (読み聞かせの会ポケット)	10/12(土)・ 26(土) 14:00	tette2階 「こども ライブラリー」
おひざにだっこのおはなし広場 (お話の会う・ポム)	10/16(水) 11:00	

有料のイベントもありますので、詳しくは各施設へお問い合わせください。

みんなのひろば



サイクルとわたし



須賀川市スポーツ鬼ごっこ愛好会

代 表 者 廣田 智
会 員 20人
発 足 年 月 平成26年11月
連 絡 先 090-6459-5183
活 動 日 毎週1回(金曜日または土曜日)
午後7時～9時
活 動 場 所 第二小体育館または中央体育館

「スポーツ鬼ごっこ」は、鬼ごっこをしながら相手陣地にある「宝」を取り、取った宝の数を競うスポーツです。
最大の特徴は、特別な道具を使わないことや、ルールが簡単で小学生から楽しんでプレーできることです。
また、プレーの中にダッシュ、ターン、ストップなどの瞬発力や敏しょう性を養い、仲間と力を合わせて勝利を目指すなどのチームプレーの精神を育むことができ、様々なスポーツに生かすことができます。
活動は週1回、定期開催しており、小学校の親子行事、地域の公民館事業や市内児童クラブでも活動しています。
体験会は随時行っていますので、興味のある方はお気軽にご連絡ください。



ふるさとの遺産

須賀川アルバム No.302

－昭和の記録写真から－

「妙見の交通公園」 (昭和40年代)



高度経済成長期の交通安全をけん引した「妙見の交通公園」

39 博物館 ☎(75)3232
この施設は「交通公園」とも呼ばれ、横断歩道の渡り方や道路標識の意味などを児童や生徒に指導する場として活用されました。
現在では、ごく普通の児童公園として利用されていますが、東側の一角に交通公園時代の面影が残っています。

写真は、昭和44年、翠ヶ丘公園の妙見児童公園にできた「交通安全教育センター」です。戦後、高度経済成長によって自動車の所有率は爆発的に増加しました。市内の自動車台数は、昭和49年に1万1千台となり、昭和29年に比べ38倍にも達しています。信号機や横断歩道、歩道橋の設置なども進められましたが、運転者にも歩行者にも、交通安全の知識が浸透する過渡期であり、交通安全事故の多発が社会問題になりました。